
通り魔中年たけし

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

通り魔中年たけし

【Nコード】

N15720

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

救いようのない話。いやだなこれ。。。評判悪かったら非公開設定にしよう。うう。

非正規労働。34歳。童貞。メタボリック。ロリコン。クツには穴があいている。しかも、痔もち。小説はなかなか上手くない。書いても書いても商品価値のあるものができない。自己満足作品ばかり。

たけしは本当にいらいらして、かばんの中に包丁を忍ばせている。通り魔をしようかなと企んでいるのだ。

さすがにこの歳になると社員雇用は無理だ。企業が雇わないし、オレもやる気力がない。かといえ、非正規は仕事多いし賃金安いし地獄だ。プロ作家も倍率高すぎて難しい。アマ作家は印税がないので地獄だ。自殺はいやだ。生きたい。結婚したい。

そんなの無理だ。じゃあ、引きこもりたい。それも無理だ。スポンサーがない。

そんなわけで通り魔しか道がない。通り魔も厳密にはいやだ。みんなに迷惑かける。しかし、世間はいつまでたってもオレに月収四十万円を払わない。十万円しか払わない。いいかげんイラついている。みんながオレに迷惑をかける。これでは結婚できないではないか。やはり、通り魔するしかないじゃないか。なんだ。ほんま。やりたくないよ。そんなかつこ悪いこと。

でもこのままじゃ精神を世間に殺されてしまう。通り魔するしかない。

たけしは、かばんから包丁を出した。

なんでこんなことしなきゃいけないのか意味不明である。世間がオレにきちつと適正報酬を支払えば、こんな馬鹿なことしなくていいのだ。世間が馬鹿なことするからオレも馬鹿なことをしなきゃいけない。むかつく。

しかし、前を歩いていた女の子を見て、包丁をかばんにしまった。

ああ。オレも20くらいで結婚してたらあれくらいの子供いるな。

殺せねえや。かわいすぎる。ああ。ああ。

しかし、たけしはまた元に戻る。どうせオレは結婚できねえんじやねえか。しかも一生。世間のせいで。

またかばんから包丁を出した。

女の子がそれを見つけた。

「おじちゃん」

ぎく。

「おじちゃん、寿司職人？」

「え。違うよ」

何と勘違いしてるのか。あ。包丁持ってるから。

「じゃあ、何で包丁持ってるの？」

「それはそのう」

たけしは頭がパニックになり、思わず、女の子の胸を刺してしまった。

「うぎゃあああああああ」

うわ。やっちゃった。

どうしよう。どうしよう。やっちゃった。ほんまにやっちゃった。

まわりの通行人が悲鳴を上げて逃げる。

「通り魔だ」

「うわあ。助けてえ」

どうしたらいいんだ。いや、はつきりいってもう通り魔する気がしない。一人刺して気持ち悪くなってきた。

しかし、みんながこんなに騒ぐ以上はしなないといけない。

たけしは、老婆を捕まえ、包丁で背中をむちやくちやに刺した。

「うぎゃあああああああ」

次にサラリーマンに石を投げた。頭に命中してよろめいたところを、ハンマーで頭をたたいた。

「むげ」

目ん玉が飛び出る。

そんなことを繰り返し、犠牲者は45人。死体がアスファルトに転

がる。

「ああ。オレは何とということをしてしまったんだ。これは死刑になるに決まってる。もう小説が書けなくなる」

すると、向こうから警官がプラカードを持ってやってきた。

「へ」

「どつきりです」

アスファルトに転がっていた人たちが起き上がった。女の子も生きてる。

「こ、これはいったい」

女の子が包丁とハンマーをよく見てよと言っ。

「あれえ」

触ってみるとゴムでできてる。

「じゃあ、血は??？」

「これ、絵の具だよ。映画で使うやつだよ」

「なんだあ」

みんながわははははと笑う。

たけしは遠くを見て、都合のいいことを想像してる。現実を見る。

パトカーのサイレンが近づく。

たけしはもう小説が書けないだろう。絞首刑決定だから。

たけしは小説がもう書けない！そんな馬鹿な！ひどすぎる！！！！！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1572o/>

通り魔中年たけし

2010年10月20日22時04分発行